

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 3月分 各業界からのコメント

◎建設業

- ・物価や材料費が値上がりしており、採算を悪化させている。
- ・人手不足と建設資材・ガソリン単価の値上げが深刻。新卒採用も厳しい状況。
- ・燃料、原材料の高騰により、非常に厳しい現状が続いている。
- ・現状、人手不足感はないが、若い社員をなかなか採用できない事で社員の高齢化が加速し、技術の伝承が出来ない状況が続いている。
- ・新卒採用に苦戦。特に技術系人材。

◎製造業

- ・大手企業・食品関係で値上ラッシュ。人件費を上げるためには価格を上げざるを得ないのか。
- ・ステンレス系材料の高騰が続いている。価格転嫁はできているが、まだ十分とは言えない。
- ・電気料金やガス料金の高騰に加え、使用原材料の値上げ要請が後を絶たない状況である。一方価格転嫁は追いついていかない。この先円安による原材料の再値上げなどがあると、採算面では大変厳しい状況となる。また、この先控えている賃上げを考えると、人件費についても不安を隠せない。
- ・今のところ仕事はあるが、この先は不安である。

◎卸売業

- ・人の動きが活発になってきた。消費の拡大に期待したい。
- ・3年間のコロナシフトでの生活習慣が消費活動にどのように影響するかが懸念要素である。
- ・鶏インフルエンザによる卵製品の高騰・不足が深刻。
- ・日ごとに春めいてきて、春野菜の出回りが見受けられてきたが、卵をはじめ食料品の価格の値上がり傾向から、消費者の財布のひもは固い。
- ・仕入単価が高騰しており、商いに厳しさを感じている。

◎小売業

- ・コロナが落ち着いて来ているため、景気の好転に期待している。
- ・今まではコロナで行動制限がかかっていたが、雪解けとともに不景気が解けていくことを願っている。

◎サービス業

- ・新型コロナウイルスの部類の変更に伴い、卒業式・入学式や歓送迎会が行われるようになり、経済活動が動き出していくように感じる。物価高が続いているため、早く経済が回ってお金の動きも活発になると良いと思う。
- ・2月までは、動き自体は静かだったが、3月に入り人の動きが活発になったような気がする。
- ・今月からマスクは自己責任でよくなったが、仕事柄マスク着用は必須。他の方を見ても、まだまだ取る人は少ないように感じる。
- ・5月8日以降、コロナも5類になるが、感染者はまた増えるような気がする。
- ・人手に関しては3月に入ってから良くなっている。ハローワークや人材紹介会社、派遣会社からも問

い合わせが増えた。

- ・ 年度末および年度初めのイベントはコロナ禍以前の状況に戻りつつある。
- ・ 案件数も減少は無いが、新年度の賃上げによる人件費上昇がやや懸念される。
- ・ 昨年の2月前後は時短要請で売上が落ちていたが、今年はコロナ前に回復している。
- ・ 物価上昇と賃金上昇でコストアップ、そしてインボイス・電商法とバックオフィスの業務が負担になる恐れがある。
- ・ すべてのコストが上昇している中で収益の確保が必要であるが、価格転嫁がどこまで許容できるのが課題となっている。
- ・ インボイス、電子帳簿の制度は、よく知らない人も多く、混乱と事務負担を増す制度だと思う。インボイスおよび電子帳簿制度を一旦凍結し、事務負担のない、シンプルな制度の創設を望む。
- ・ 高齢社員の退職が続いたため、営業収入全体が減少。
- ・ 運賃改定があったにも関わらず、物価高で価格転嫁が出来ていない。
- ・ 業界全体で人手不足がこれまでより顕著になってきた。
- ・ 慢性的な人手不足が続く中、賃金の引き上げや労働諸条件の改善をしなければ従業員はついてこない。いつまで厳しい経営環境が続くのか、先が見通せない。
- ・ 悪すぎた前年と比べ、売上は好転しているが、コストの上昇もあり採算ベースではまだまだ厳しい。
- ・ これから人流が活発になる季節となるが、売上だけではなく、経費削減も徹底的に取り組んで行かなければならない。
- ・ 新型コロナの終息が見え始めた今、ウクライナ問題も早く解消してほしい。
- ・ 年度替わり前の3月は毎年売上が多く、今年も同じである。5月以降、新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に移行するとなると、また状況も変わり良い方向にはいかない気がしている。
- ・ 今後の見通しは、人件費、建設・造成コストで左右される。